

# 妙安寺だより 375

テレフォン法話 電話092-751-6084 (月曜日に話が変わります)

読みかじり・聞きかじりシリーズ 7

## とは

11月15日は、子どものこと成長を祝う七五三ですが、7歳、5歳、3歳で祝うのはなぜでしょう。「七五三、とセットになったのは、江戸時代だろうといわれています」

奇数は、陰陽思想で縁起の良い数字とされ、「しめなわ」を「七五三縄」とも表記され、昔(昭和の時代?)のデパートの商標にも使われていました。例えば、「岩田屋」の岩の字、「大丸」の大の字、

「三越」の越の字をよく見ると、かすれたように見えますが、これにも七五三の数字が入っています。

現在では、三越以外は、商標が変わっていますが、大きな百貨店では、この七五三のはねた字がついていました。これも縁起をいだしと言えます。

江戸時代後期の江戸市中の様子をしたでは、11月15日は幼児のお宮参りの日であり、男女3歳の「」、男5歳の「」、女7歳の「」を祝うと記されています。

時代をさかのぼると、七五三の原型が見えてきます。

「」という袴を初めて着る儀礼は、平安時代後期にの間で行なわれたと記録にあります。その年齢は3歳が中心だが、5歳や7歳にもあり、男女共に行なわれていたという。

さらに、幼児の髪を伸ばし始める「髪置」、ひもの付いた着物から帯を使うようになる「帯解」が、中世に登場する。

小川直之・国学院教授(民俗学)は「着袴がもとになり、分化、独立していったものが江戸時代に定型化。庶民にも広がったのだろう」と話している。

**地涌の声・功德主募集** 平成28年度の「地涌の声・功德主」を募集しています。

ご希望の方は、希望月ならびに1カ月5,000円を添えて申し込み下さい。

同じ月に希望が重なった場合は、先着順になりますので、第2希望月もあわせてお知らせください。

※FAXにても、申し込みいただけます。(FAX番号 751-4055)

平成27年度の護持会会費の未納の方は、納入の程よろしくお願いいたします。

護持会の年度は、1月～12月になっております。